

第4回 南砺市男女共同参画推進審議会 議事要旨

- 日 時：平成28年10月21日（金） 19:10～21:05
- 場 所：南砺市協働のまちづくり支援センター横 大会議室
- 出席者：

〔委員〕

大坪 久美子、沖田 功、斎藤 愛生、澤田 和代、高瀬 英明、中島 幸子、森田 利一、磯辺 文雄、渡辺 敏孝（会長）

〔事務局〕

南砺で暮らしません課 課長 市川 孝弘、副主幹 石本 裕、〃 石崎 裕子
 (株)東洋設計 都市空間情報部 南 雅

※敬称略、五十音順に表記

■議事次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 付議事項
 - (1) 今後のスケジュール
 - (2) 第2次 南砺市男女共同参画推進プラン（案）について
4. 閉会



■議事要旨

- (1) 今後のスケジュール

意見等	対応
<ul style="list-style-type: none"> ・パブコメにあたり、市民のHP閲覧機会を喚起し、プラン案について意見を広く求めるために、事前に広報で告知できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPでは、トップ頁で「新着のお知らせ」を行い、閲覧の喚起に工夫している。
<ul style="list-style-type: none"> ・HPとは別に、自治会等の班回覧で意見を募ってはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パブコメは当初予定のHPで実施したい。

- (2) 施策の成果指標について

意見等	対応
<ul style="list-style-type: none"> ・今回、事前配布されたプラン案には、成果指標は記載されていないが、次回には諮られるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標は、1次プランと同様に、施策別ではなく、項目に応じて設定する。 ・総合計画の目標値設定との整合が必要のため、次回に最終案として諮る。
<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進員数の目標値について、 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治振興会単位で設定している男女共同

<p>数値の高さが南砺市の取り組みを評価することにもつながることも考慮し、審議会で検討した「2倍」は堅持すべき。</p>	<p>参画推進員は、人口減少が進む中で、自治振興会の構成員が1人で複数のまちづくりの担い手役となっている現状であり、これ以上の個人的な負担を強いることは、担い手そのものの減少にもつながりかねず、市民のまちづくりパワーを堅持するためにも、事務局案の成果指標設定が妥当と考えており、理解をいただきたい。</p>
<p>・男女共同参画推進員数の目標値設定は、他市町と比較して水準を検討するのではなく、推進員の役割を踏まえて、過不足を検討すべき。</p>	

(3) 施策内容について

①全体

意見等	対応
<p>・南砺市らしさを施策に反映していることを明確に示す必要がある。南砺市らしさに拘り、どのように人を呼び込むかが重要なテーマと考えられる。</p>	<p>・南砺市らしさについては、本プランでも整理している (P29 (3) (4))。</p>
<p>・「協働」から「総働」へとテーマを広げているが、「協働」の定義が市民に分かりづらく、理解され難い現状では、本プランで取り上げることは適当でない。</p> <p>・「総働」とは、「総参加」といったニュアンスで理解している。市民と行政が総合的に取り組むイメージがある。</p> <p>・先日のフォーラムで示された概念であり、フォーラムに参加していない市民が多数で、現時点では意味が理解されにくい。</p>	<p>・「総働」の表記については、再検討する。</p>
<p>・施策の取り組みについて、「努めます」は「進めます」や「取り組みます」など、積極的な表記に修正すべき。</p> <p>・字句は表記を統一すべき（「取り組み」など）。</p>	<p>・表記を修正する。</p>

②個別

意見等	対応
<p>・サブタイトル案は、本市の地域づくり全体で用いる際には適当かと思えるが、本プランは男女共同参画推進というテーマに準じたものであるため、「総働」の扱いとともに、見直すほうがよい。</p> <p>・サブテーマは、ネガティブなイメージを想起させることがないよう、夢を持って</p>	<p>・サブテーマは再提案する。</p>

<p>前向きに取り組めるキーワード、例えば、「輝かしい」などを用いることが望ましい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「協働」に対して「総働」を用いることで、本市の生き残り施策の意気込みを伝える意図は理解できる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・本プランは、男女共同参画が主題であるが、基本目標で、あえて「男女」を記載すべきか否かは検討すべき。 ・「男女」を表記するほうが施策内容等として適当な場合もあり、表記すべき事項を精査・取捨選択すべき。 ・男女をテーマとして焦点をあてる意味では、あえて表記することが適当な場合もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標における「男女」の表記は、再検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標4.「男女の健康支援」は、世界的に通用する「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」に変更することで、生涯にわたり持つべき女性の基本的視点を明確にアピールすることが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「総働」と同様に、市民に理解されるべきプランで一般に普及していないキーワードを、あえて記載するかは検討したい。
<ul style="list-style-type: none"> ・施策番号3:「T S T」の表記は、固有名詞でもあり、訂正すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ケーブルテレビ等」といった表記に修正する。
<ul style="list-style-type: none"> ・施策番号6:「学校における教育」は「未就学児からの教育」とすべき、現状で、幼稚園・保育園でも男女共同等に関する意識の低さが見受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表記を修正する。
<ul style="list-style-type: none"> ・施策番号7:保健師の研修必要性は、保育士や教職員の次に相当するものと考えられ、記載順を変更すべきでは。 ・1次プランと同様の表記が望ましい。 ・教育を受ける時系列で当事者を列記すると案の通りが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ・施策番号8:学習機会について、例えば、女性の政治参画についての勉強機会提供なども重要な取り組みであり、追記が望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・追記を検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ・施策番号17:単に「支援体制」とせず、市民に安心感を与えることを目的とすること等の意図がわかる文章に修正が望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を修正する。
<ul style="list-style-type: none"> ・施策番号30:保育園の統合が進む中で、保護者に対する保育サービスの選択肢を提供できることは重要であり、その意図 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討する。

<p>を含む文章に修正が望ましい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援策は、本市らしい男女共同参画の在り方を示すうえで重要な取り組みである。 	
<ul style="list-style-type: none"> 施策番号 33：放課後児童クラブと学童保育は併記すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 検討する。
<ul style="list-style-type: none"> 施策番号 45～47 の中で、女性と男性が働きやすい環境づくりに取り組むなど、望ましい職場環境づくりの機運を広げられるよう、優良企業を顕彰しHP等で紹介することを施策に盛り込めないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 施策内容を再検討する。
<ul style="list-style-type: none"> 施策番号 55：「健康診査」と「健診」し同義で捉えられるため、「健診」を削除してはどうか。 〃：予防事業の()内、予防接種については、接種反対の意向を持つ市民もいる中で、市が接種を勧めるように理解されることを避けたく、削除してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 表記を修正する。 予防接種を削除する。
<ul style="list-style-type: none"> 施策番号 58：補足して「関連する」「年 1 回以上」を追記すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 追記する。
<ul style="list-style-type: none"> 施策番号 59：施策の円滑な推進に当たり、市民の活動拠点として本センターを位置づけ、さらに、活動する市民等の交流や苦情処理、相談窓口機能（例. 性別による人権侵害など）を当該拠点施設が担う意図を文章に追加できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 本センターが協働のまちづくりにおける拠点施設であり、ここに男女共同参画支援機能等を持たせることは可能であり、文章を検討する。